

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.1

令和2年2月4日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 1月31日に漁船の協力により、相馬海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は37-48N、141-0E～141-10Eの5点です。
- ・ 丸稚ネットで10m深付近(一番灘の定点は表層)を5分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴの採捕数は4尾、定点当たりの平均は0.8尾でした(図1)。全長は4.5～14.0mm、平均9.0mmでした。昨年同時期の定点当たりの平均は2尾(8定点)であり、昨年同様に低調となっています。

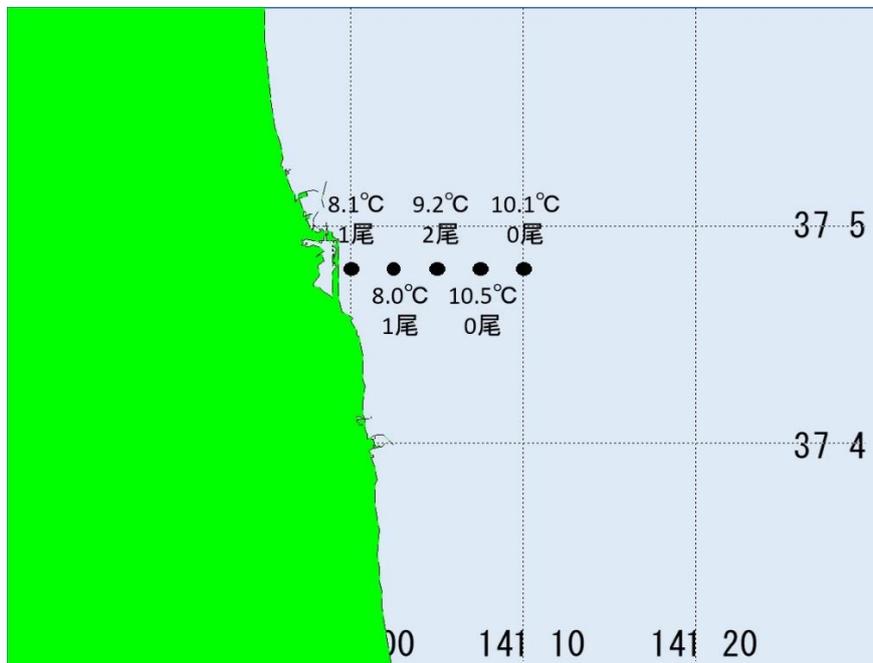


図1 コウナゴ採捕尾数

丸稚ネット

丸稚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速1.5ノット程度で5分間曳網しております。

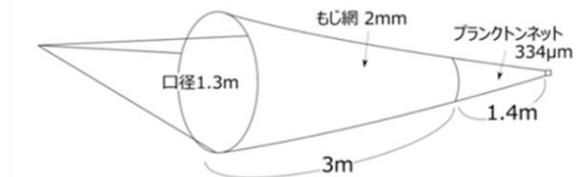


図2 丸稚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.2

令和2年2月4日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 1月31日に調査指導船「いわき丸」により、いわき海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は37-00N、141-2E～141-24Eの4点です。
- ・ 新稚魚ネットで表層を10分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴの採捕数は5尾、定点当たりの平均は1.3尾でした(図1)。全長は11.0～15.0mm、平均13.4mmでした。

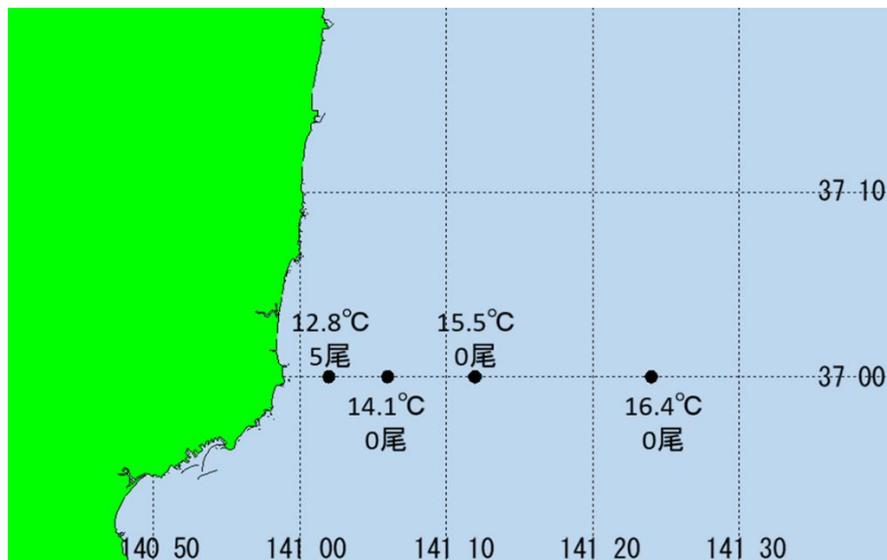


図1 コウナゴ採捕尾数

新稚魚ネットについて

新稚魚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速2ノット程度で10分間曳網しております。

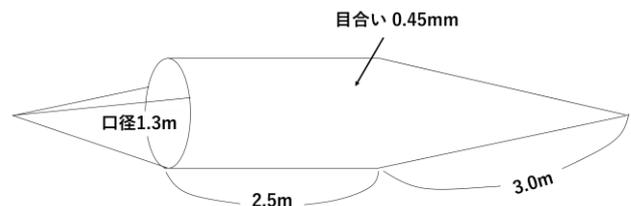


図2 新稚魚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.3

令和2年2月7日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- 調査指導船「いわき丸」で2月4日にいわき海域、2月5日に相馬海域、富岡海域にてコウナゴ調査を行いました。
- 調査点は以下のとおりです。
いわき海域：37-00N、141-2E～141-6E の2点 相馬海域：37-50N、141-2E～141-6E の2点
富岡海域：37-25N、141-5E～141-9E の2点
- 新稚魚ネットで見層を10分間曳網しました。

結果

- いわき海域ではコウナゴは採捕されませんでした。相馬海域では平均3.5尾、富岡海域では平均6.0尾採捕されましたが、昨年同様に低調となっています。
- 相馬海域のコウナゴは全長7.0～11.0mm、平均9.4mmでした。
- 富岡海域のコウナゴは全長9.0～20.0mm、平均12.8mmでした。

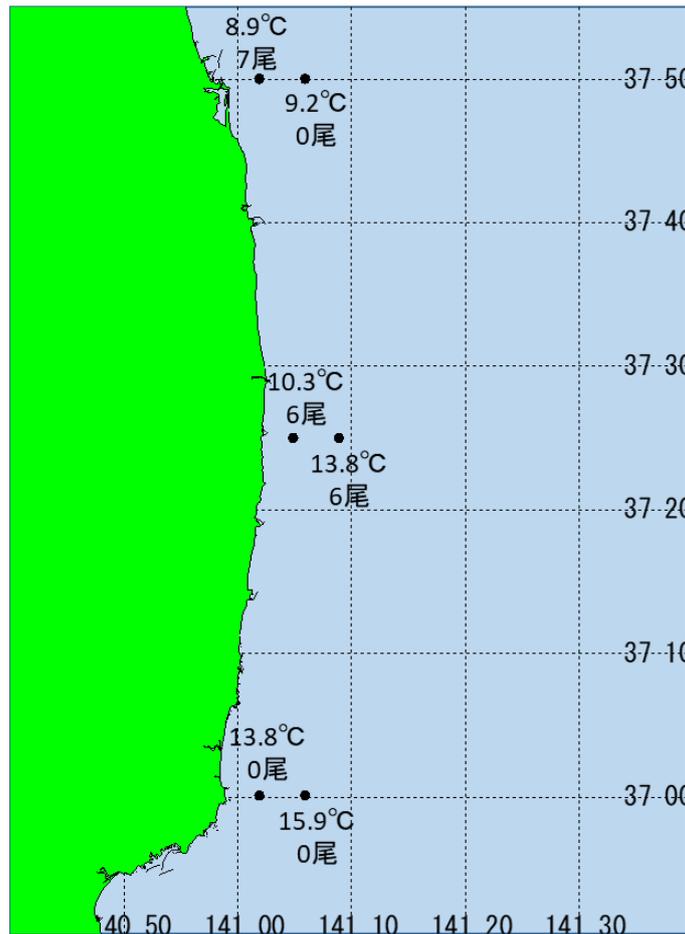


図1 コウナゴ採捕尾数

新稚魚ネットについて

新稚魚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速 2 ノット程度で 10 分間曳網しております。

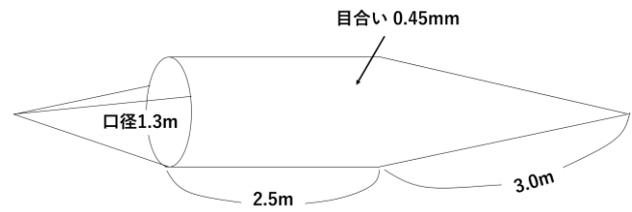


図 2 新稚魚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.4

令和2年2月10日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 2月4日に調査指導船「拓水」により、相馬海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は37-48N、141-0E~141-17.5Eの8点です。
- ・ 丸稚ネットで10m深付近(一番灘の定点は表層)を5分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴの採捕数は34尾、定点当たりの平均は4.3尾でした(図1)。全長は5.5~17.0mm、平均9.6mmであり、昨年同様に低調となっています。

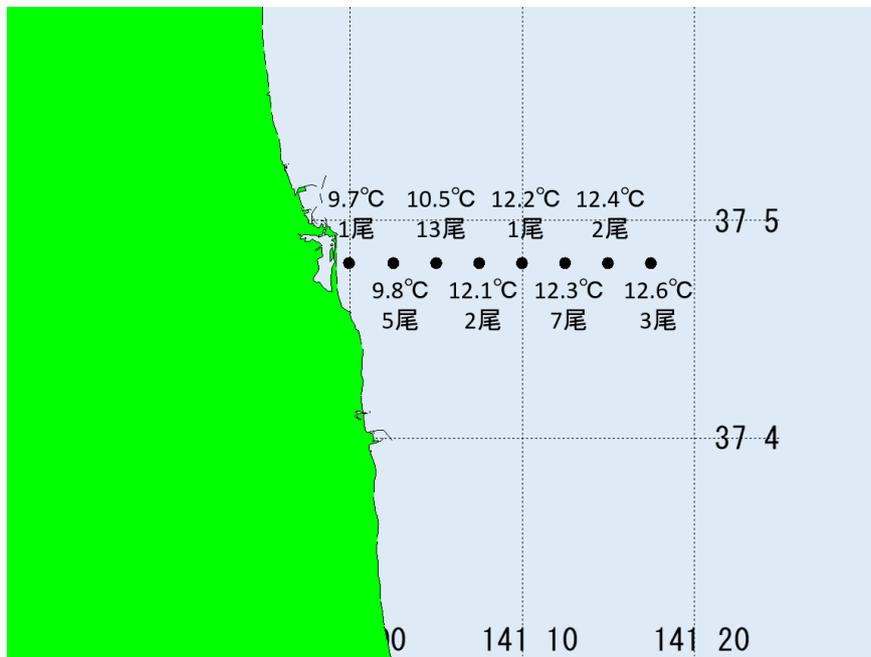


図1 コウナゴ採捕尾数

丸稚ネット

丸稚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速1.5ノット程度で5分間曳網しております。

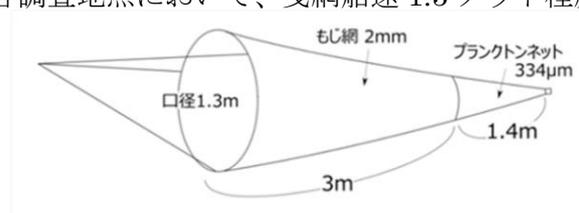


図2 丸稚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.5

令和2年2月13日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 2月10日に調査指導船「拓水」により、いわき海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は36-55N、140-55E～141-12.5E の8点です。
- ・ 丸稚ネットで10m深付近(一番灘の定点は表層)を5分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴは採取されませんでした。

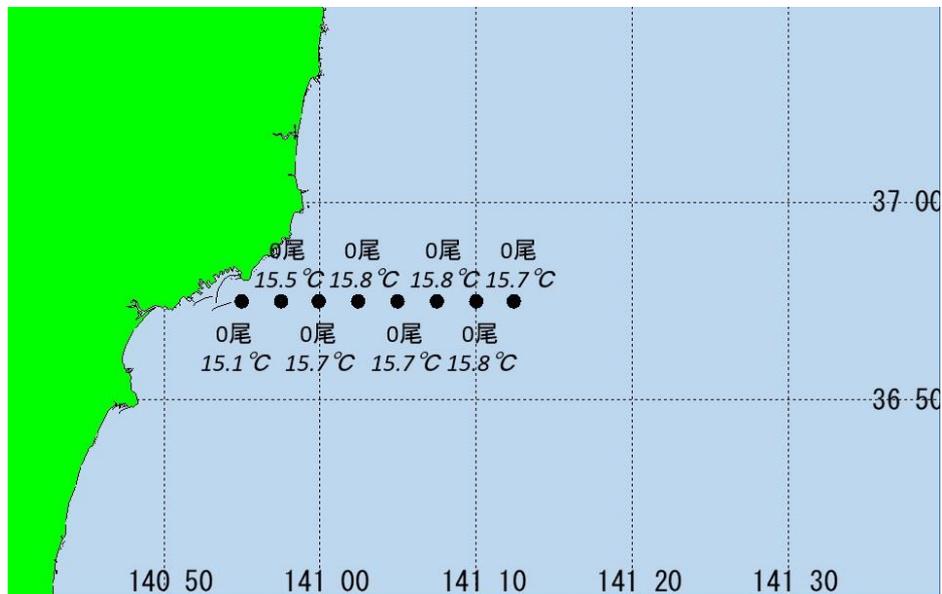


図1 コウナゴ採捕尾数

丸稚ネット

丸稚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速 1.5 ノット程度で5分間曳網しております。

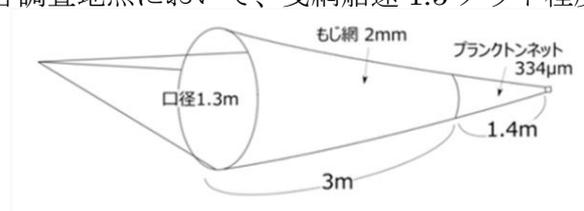


図2 丸稚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.6

令和2年2月17日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 2月14日に調査指導船「いわき丸」により、いわき海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は37-00N、141-2E～141-24Eの4点です。
- ・ 新稚魚ネットで表層を10分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴは採取されませんでした。

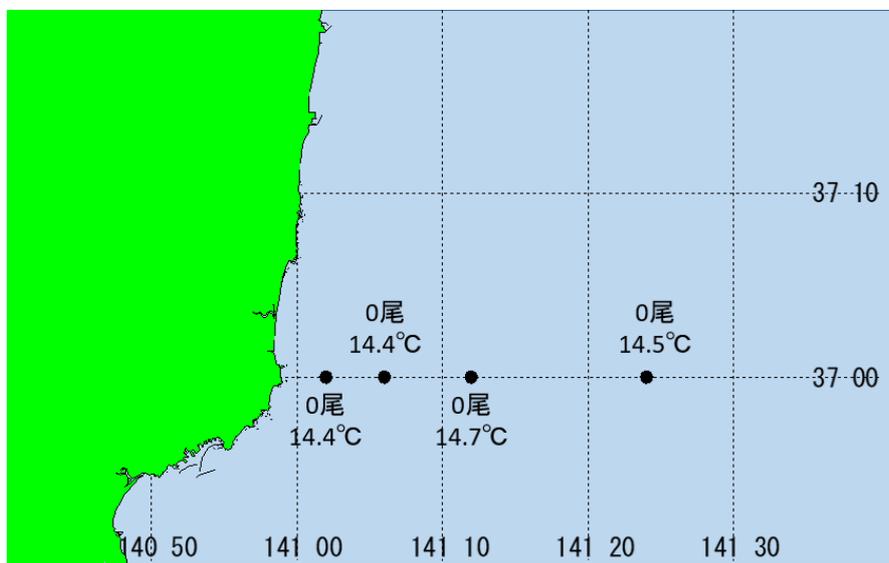


図1 コウナゴ採捕尾数

新稚魚ネットについて

新稚魚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速2ノット程度で10分間曳網しております。

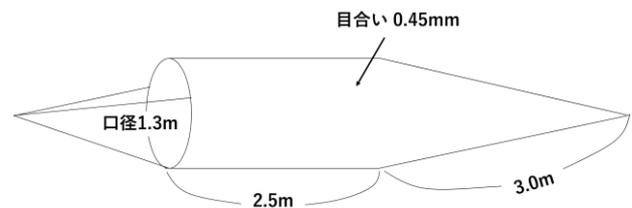


図2 新稚魚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.7

令和2年2月26日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 調査指導船「いわき丸」で2月19日に富岡海域、2月21日にいわき海域にてコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は以下のとおりです。
富岡海域：37-25N、141-5E～141-27Eの4点 いわき海域：37-00N、141-2E～141-24Eの4点
- ・ 新稚魚ネットにて表層を10分間曳網しました。

結果

- ・ 富岡海域では平均0.8尾採捕されました。いわき海域ではコウナゴは採捕されませんでした。
- ・ 富岡海域のコウナゴは全長9.0～11.0mm、平均10.0mmでした。

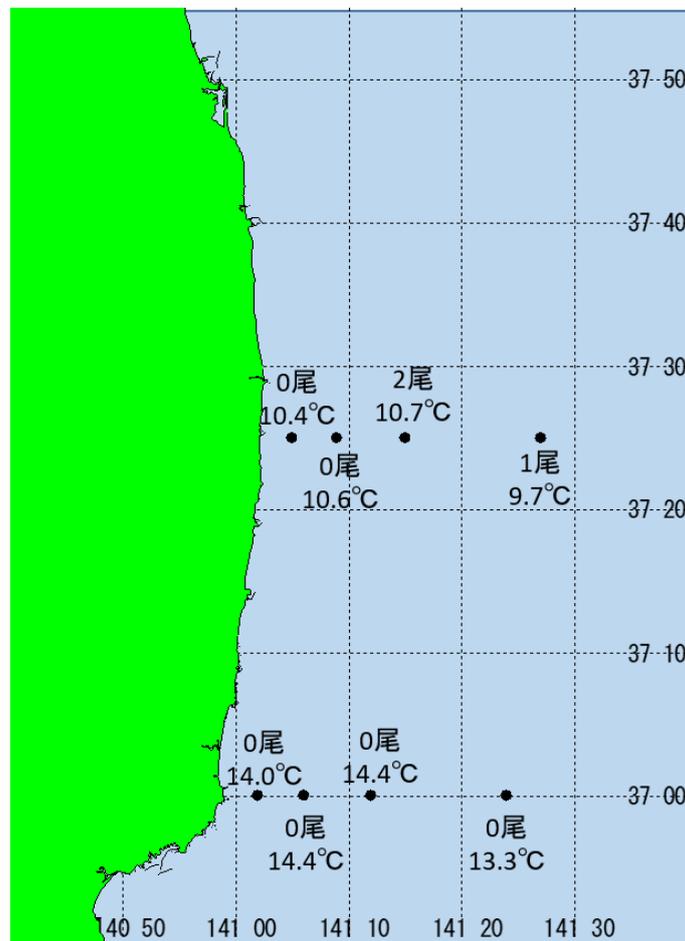


図1 コウナゴ採捕尾数

新稚魚ネットについて

新稚魚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速 2 ノット程度で 10 分間曳網しております。

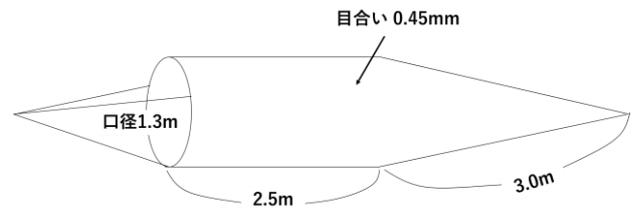


図 2 新稚魚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.8

令和2年3月2日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 2月25日に調査指導船「いわき丸」により、いわき海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は37-00N、141-2E～141-24Eの4点です。
- ・ 新稚魚ネットで表層を10分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴの採捕数は2尾、定点当たりの平均は0.5尾でした(図1)。
- ・ コウナゴの全長は20.0mmと13.0mmでした。

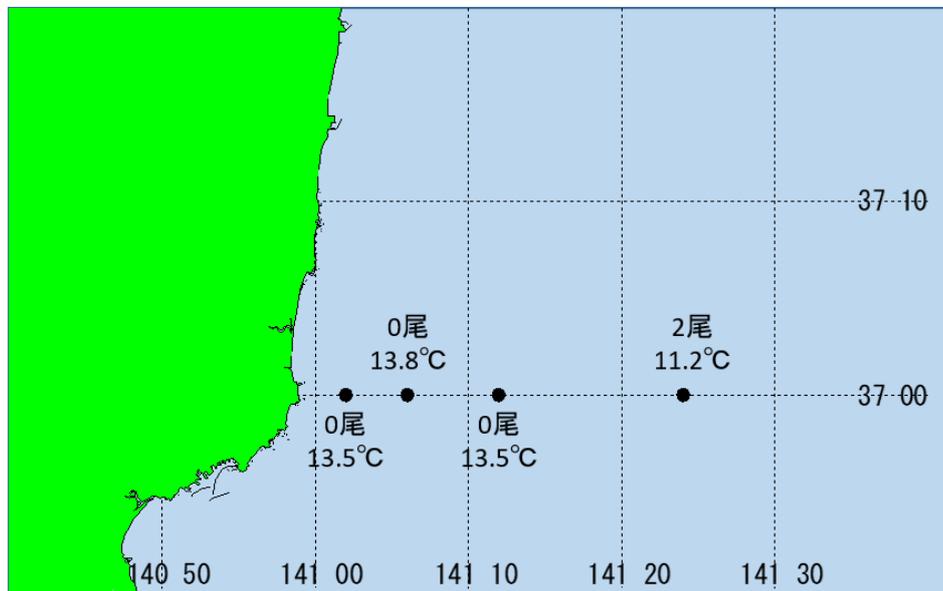


図1 コウナゴ採捕尾数

新稚魚ネットについて

新稚魚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速2ノット程度で10分間曳網しております。

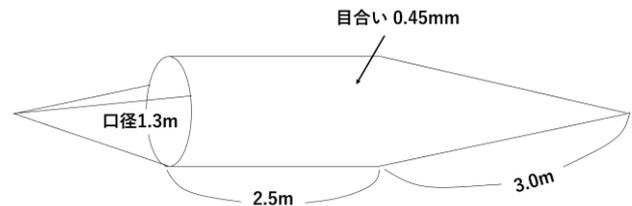


図2 新稚魚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.9

令和2年3月9日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 2月28日に調査指導船「拓水」により、相馬海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は37-48N,141-0E~141-10E の3点です。
- ・ 中層トロール網で10m深付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴの採捕数は10尾、定点当たりの平均は3.3尾でした(図1)。全長は11.3~30.0mm、平均18.5mmであり、平年(平成18年~平成30年の2月、2,227尾/定点)と比較して低調ですが、昨年(0.8尾/定点)よりは採取量が多くなっています。

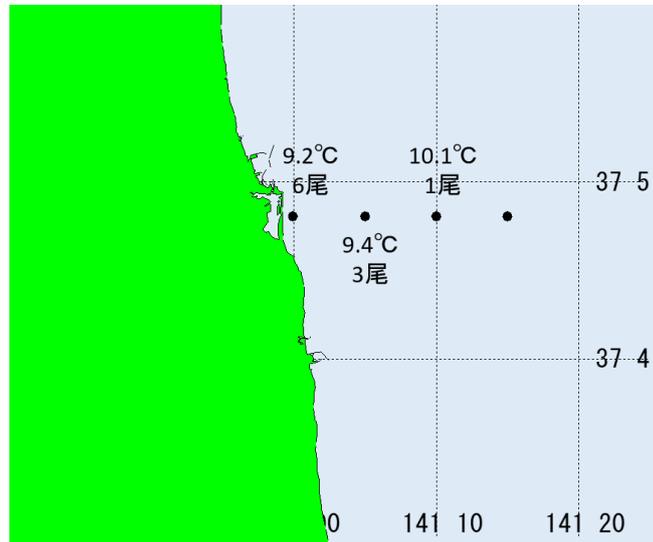


図1 コウナゴ採捕尾数

中層トロール網

中層トロール網の構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速 1.5 ノット程度で 10 分間曳網しております

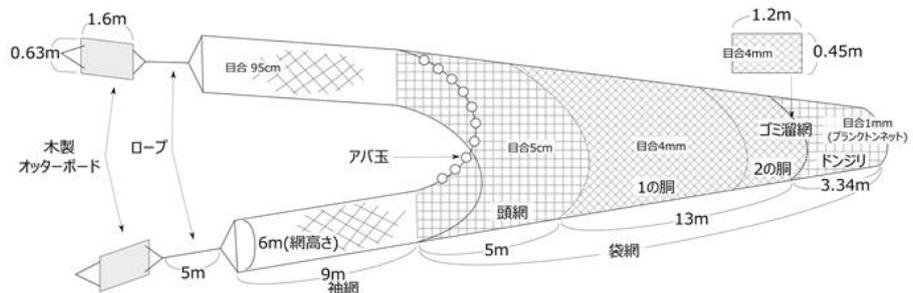


図2 中層トロール網の模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.10

令和2年3月9日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 3月4日に調査指導船「拓水」により、相馬海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は37-48N, 141-0E～141-15Eの4点です。
- ・ 中層トロール網で10m深付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴの採捕数は161尾、定点当たりの平均は約40尾でした(図1)。全長は14.3～39.0mm、平均30.2mmであり、平年(平成18～平成29年の3月、2,919尾/定点)と比較して低調ですが、昨年(0尾/定点)よりは採取量が多くなっています。

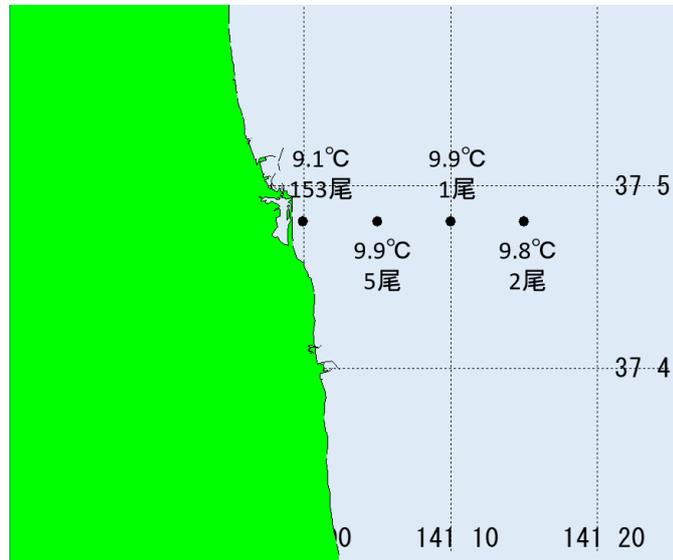


図1 コウナゴ採捕尾数

中層トロール網

中層トロール網の構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速 1.5 ノット程度で 10 分間曳網しております。

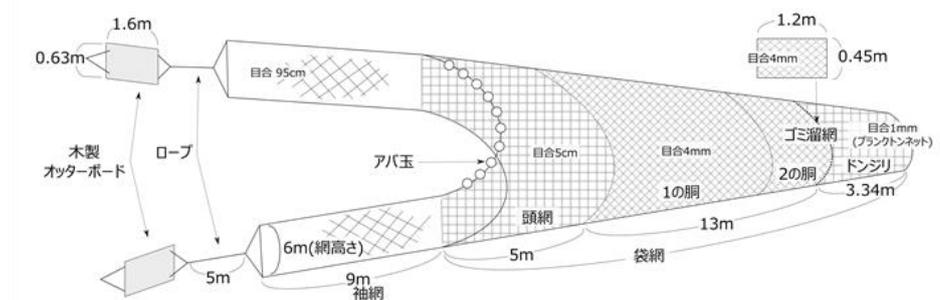


図2 中層トロール網の模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.11

令和2年4月7日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 3月24、25日に調査指導船「拓水」により、いわき海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は36-55N、140-55E～141-10Eの4点です。
- ・ 中層トロール網で10m深付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴの採捕数は1尾、定点当たりの平均は約0.3尾でした(図1)。全長は11mmでした。

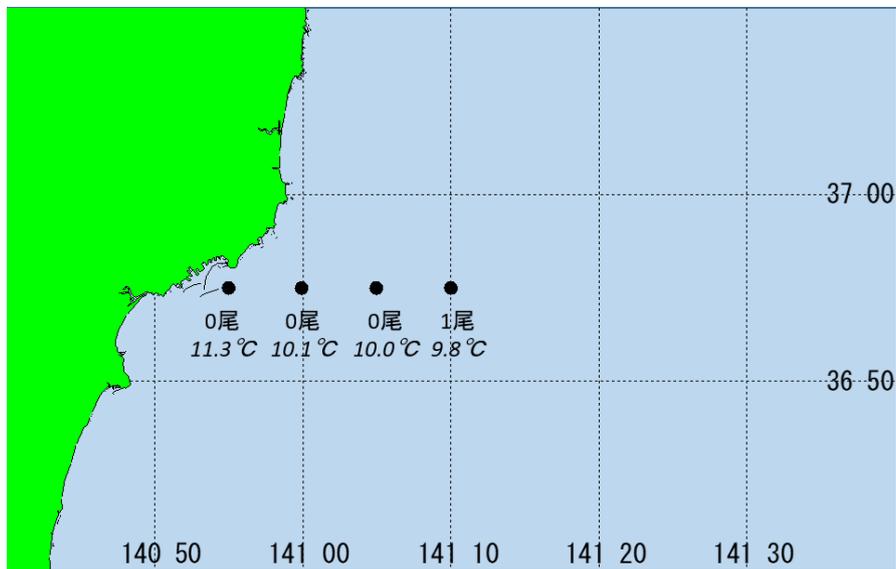


図1 コウナゴ採捕尾数

中層トロール網

中層トロール網の構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速 1.5 ノット程度で 10 分間曳網しております。

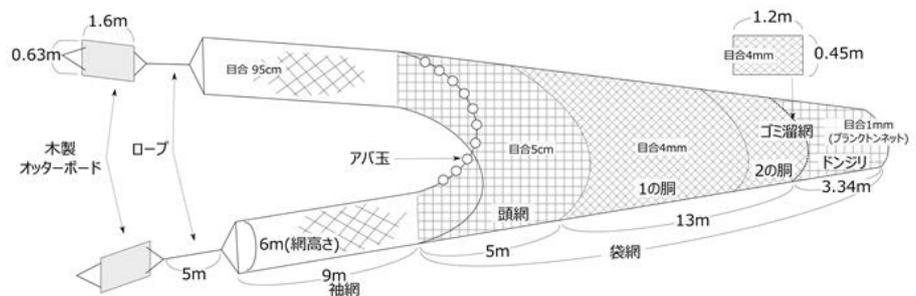


図2 中層トロール網の模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.12

令和2年4月7日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- ・ 3月26日に調査指導船「拓水」により、相馬海域のコウナゴ調査を行いました。
- ・ 調査点は37-48N, 141-0E~141-15Eの4点です。
- ・ 中層トロール網で10m深付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。

結果

- ・ コウナゴの採捕数は4尾、定点当たりの平均は1尾でした(図1)。全長は19~26mm、平均21mmでした。

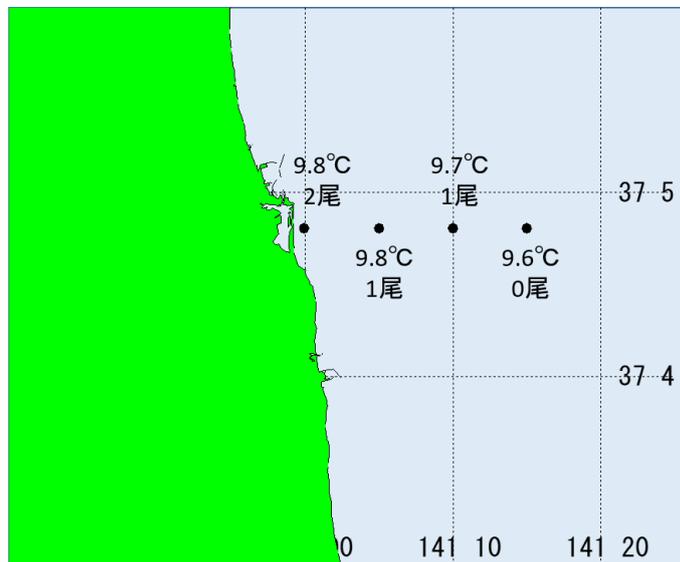


図1 コウナゴ採捕尾数

中層トロール網

中層トロール網の構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、曳網船速 1.5 ノット程度で 10 分間曳網しております。

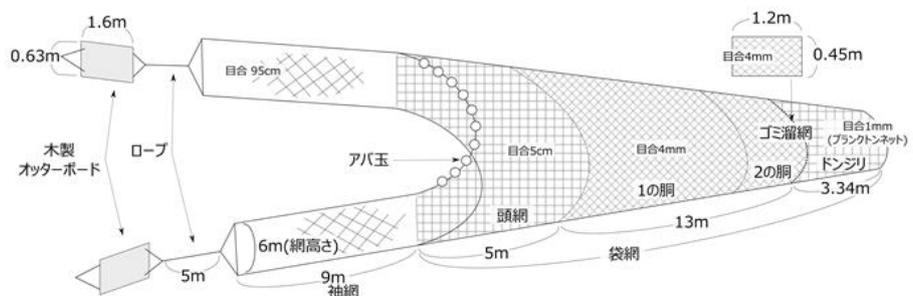


図2 中層トロール網の模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>